

「第 46 回岩盤力学に関するシンポジウム」プログラム

岩盤力学委員会では、岩盤工学および岩盤力学に関する最新の調査研究、技術の成果発表の場を広く提供するため、「岩盤力学に関するシンポジウム」を開催しております。

下記の要領で「第 46 回岩盤力学に関するシンポジウム」を開催いたしますので、各界の技術者、研究者、学生などの多数の参加をお願いいたします。

1. シンポジウム案内

主催	(公社)土木学会 (担当：岩盤力学委員会)
共催	(一社)岩の力学連合会, (一社)資源・素材学会, (公社)地盤工学会, (公社)日本材料学会
協賛	鹿島建設(株), 大成建設(株), (株)竹中土木, (株)ニュージェック
後援	岩手大学
期日	2019 年 1 月 12 日 (土), 13 日 (日)
場所	岩手大学理工学部(岩手県盛岡市上田四丁目3-5)
講演集	第 46 回岩盤力学に関するシンポジウム講演集 (CD-ROM 版, 参加費に含む)
参加費	主催・共催学会に所属の場合 一般 10,000 円, 学生 4,000 円 主催・共催学会に所属でない場合 一般 12,000 円, 学生 4,000 円 ※事前申込みは 1,000 円割引と CD-ROM 事前配布の特典あり.
講演要領	口頭発表及びポスター発表の講演要領は、HP*上の「講演要領」をご覧ください。
表彰制度	表彰対象 : シンポジウムにおけるすべての口頭・ポスター発表 賞の種類 : 優秀講演論文賞・・・提出された原稿と発表の内容が非常に優れているもの 優秀ポスター賞・・・ポスター発表の内容が優れたもの。 #優秀ポスター賞の選考には参加者の声が反映されます。受付にて投票用紙を配布いたしますので、優れたポスター発表をご記入の上、受付に設置された投票箱に入れてください。 表彰式 : シンポジウムの閉会式 (1 月 13 日) 賞品 : 楯, 賞状 表彰制度の詳細は、HP*上の「表彰制度」をご覧ください。
問合せ先	土木学会研究事業課 尾崎 史治 宛 TEL : 03-3355-3559/FAX : 03-5379-0125/E-mail : fumiharu-ozaki@jsce.or.jp

* http://www.rock-jsce.org/index.php?46th_RM_Sympo

2. 全体スケジュール

第1日目 平成31年1月12日(土)

開始	終了	セッション名		会場
9:45	9:55	開会挨拶 ¹⁾ スケジュール等		第1会場 テクノホール
10:00	10:45	口頭発表 1	ダム・構造物基礎 3件 斜面および斜面災害(1) 3件 現場計測・最新の計測技術(1) 3件	第1会場 テクノホール 第2会場 12番教室 第3会場 13番教室
11:00	12:00	小委員会報告 1	岩盤斜面研究小委員会 ～パネルディスカッション～	第1会場 テクノホール
12:00	13:00	昼食		
13:00	14:15	口頭発表 2	トンネル・地下空洞(1) 3件 斜面および斜面災害(2) 3件 室内試験・模型実験(1) 5件	第1会場 テクノホール 第2会場 12番教室 第3会場 13番教室
14:30	15:30	小委員会報告 2	事例に学ぶ岩盤力学 ～パネルディスカッション～	第1会場 テクノホール
15:45	17:15	特別講演	岩の力学連合会オーガナイズドセッション 新しい岩盤科学技術の創生	第1会場 テクノホール
17:15	18:15	ポスター	コアタイム 18件	ポスター会場 第3会議室
18:30	20:30	懇親会		Restaurant Kenji

第2日目 平成31年1月13日(日)

開始	終了	セッション名		会場
9:00	10:00	口頭発表 3	トンネル・地下空洞(2) 4件 放射性廃棄物処分 4件 室内試験・模型実験(2) 4件	第1会場 テクノホール 第2会場 12番教室 第3会場 13番教室
10:15	11:30	特別セッション	岩盤動力学に関する研究小委員会 特別セッション 4件	第1会場 テクノホール
11:30	13:00	昼食		
13:00	14:15	口頭発表 4	トンネル・地下空洞(3) 5件 岩盤の性質・評価 5件 現場計測・最新の計測技術(2) 4件	第1会場 テクノホール 第2会場 12番教室 第3会場 13番教室
14:30	14:45	表彰式 ²⁾ 閉会挨拶 ³⁾		第1会場 テクノホール

- 1) 開会挨拶 : 岩盤力学委員会 委員長 京谷 孝史
 2) 表彰式 : 岩盤力学委員会 論文小委員会 委員長 三谷 泰浩
 3) 閉会挨拶 : 岩盤力学委員会 副委員長 砂金 伸治

口頭発表 50件(特別セッション4件, 自由投稿論文6件を含む)

ポスター発表 18件(ポスター発表のみ5件)

3. 特別講演（1月12日（土）15:45～17:15／会場：第1会場（テクノホール））

進 行	岩の力学連合会 宇都宮大学 清木 隆文
題 目	岩の力学連合会オーガナイズドセッション/新しい岩盤科学技術の創生
趣 旨	岩の力学連合会では、新しい岩盤科学技術の創生を目指して、活動を進めています。今回は理学分野で活躍されている2名の研究者をお招きし、地震の発生減である地下の状態を把握するための最新の研究を紹介していただきます。
講演 1	<p>高温・高圧の地下深部の再現と地震時の高速摩擦の再現 ー地下深部の断層岩の強度を知るためにー</p> <p style="text-align: right;">国立研究開発法人 産業技術総合研究所 高橋 美紀 様</p> <p>講演概要：地震は、特に大地震は地下深部、地震発生層下底付近で発生している。このような地下深部は高温と高圧の世界であり、断層岩は変形速度（歪速度）に依存して破壊や摩擦すべりから流動的な振舞いを示すものまで変形機構を変化させている。また断層岩の強度もそれに応じて変化している。断層岩の強度を知るという視点を中心に、講演では地下深部の温度・圧力や地震による高速剪断を再現するための実験手法と講演者の最近の研究を紹介する。</p>
講演 2	<p>地震波・弾性波による破壊の非破壊検査</p> <p style="text-align: right;">立命館大学工学部教授 川方 裕則 様</p> <p>講演概要：弾性波の一つである地震波は非破壊検査のためのデータとして広く用いられている。弾性波を解析するにあたり、波長と不均質スケールに応じて、等価均質媒質としての取り扱い、波線理論の適用、ランダム不均質媒質としての取り扱いなど、状況に応じた手法が採用される。本講演では、実験室内での研究を例に挙げ、破壊に至る状況を弾性波で把握する取り組みについて紹介する。</p>

4. 研究小委員会報告

(1) 小委員会報告 1 (1月12日(土) 11:00~12:00/会場: 第1会場 (テクノホール))

テーマ	岩盤斜面の維持管理 ～パネルディスカッション～
担当	岩盤斜面研究小委員会
進行	岩盤斜面研究小委員会委員長 中日本高速道路(株) 緒方 健治
パネラー	中日本高速道路(株) 緒方 健治 日本工営(株) 小俣 新重郎 応用地質(株) 馬 貴臣
内容	岩盤斜面研究小委員会では、岩盤斜面及び斜面对策工の点検・メンテナンス手法を研究テーマとして取り組んでいます。点検やメンテナンスに関して、現状と課題、最近の施策の動向、新技術の開発状況、新たな知見などの情報を収集し取り纏めを行い、社会や会員への情報提供を行っていく予定です。本セッションでは、これまで小委員会で収集した資料の中から、①その後の技術基準や対策に大きな影響を与えた岩盤斜面災害の概要や災害から得られた課題・教訓、②岩盤斜面のモニタリング実施例などについて紹介します。

(2) 小委員会報告 2 (1月12日(土) 14:30~15:30/会場: 第1会場 (テクノホール))

テーマ	事例に学ぶ岩盤力学 ～パネルディスカッション～
担当	岩盤力学関連事例研究小委員会
進行	岩盤力学関連事例研究小委員会委員長 首都大学東京 砂金 伸治
パネラー	(一社)施工技術総合研究所 寺戸 秀和 パシフィックコンサルタンツ(株) 木谷 努 ほか小委員会委員数名
内容	本小委員会は、中堅の技術者・研究者により構成され、岩盤力学に関する事例を念頭に置いた文献・情報の収集、および分析等を実施し、初級から中級への橋渡しとなるべく岩盤力学の様々な知見をとりまとめる活動を行っている。昨年に引き続き、今回の報告では岩盤力学の事例に関して「ふとした疑問」から「解決が困難な課題」まで、その解説案をQ&A形式で紹介するとともに、パネルディスカッションを通じてフロアーから意見をいただき、今後の岩盤力学に関係する技術とその伝承、技術者に求められる方向性を考える。

5. 懇親会

担当	論文小委員会
日時	平成30年1月12日 18:30~20:30
会場	Restaurant Kenji (岩手大学上田キャンパス内 中央食道2F tel: 019-651-5008)
参加費	一般 4,000 円, 学生 2,000 円 (参加費はシンポジウム受付で集金致します。) 参加希望の方は、シンポジウム受付に受付表を置きますので、できるだけ1月12日昼までにご記入ください。なお飛び入りも歓迎致します

6. 研究小委員会特別セッション

- 『岩盤動力学に関する研究小委員会特別セッション』／1月13日（日）10:15～11:30／会場：第1会場（テクノホール）／司会：清木 隆文（宇都宮大学）

講演番号	発表形式	タイトル・著者（○は発表者）
1	0	実地震を対象とした地表地震断層変位のシミュレーション ○澤田 昌孝
2	0	岩盤不連続面の寸法効果がスティック・スリップ現象に及ぼす影響について ○清田 亮二, 岩田 直樹, 藍檀 オメル, 渡嘉敷直彦
3	0	断層面の形状や地質構造の違いによる強震動と断層変位の比較: 神城断層地震を事例として ○岩田 直樹, 清田 亮二, 藍檀 オメル, 伊藤 高敏, 三浦 房紀
4	0	3次元有限要素法による動的破壊シミュレーションに基づく断層パラメータの違いによる断層周辺の応力変化 岩田 直樹, ○清田 亮二, 藍檀 オメル, 伊藤 高敏, 三浦 房紀
-	-	岩盤動力学に関する研究小委員会報告 ○岩盤動力学に関する研究小委員会委員長 藍檀 オメル

発表形式…0：口頭発表

8. 一般セッションプログラム

(1) 口頭発表セッション (48件：自由投稿論文6件を含む)

■ 『ダム・構造物基礎』／1月12日(土)10:00～10:45／会場：第1会場(テクノホール)／司会：木下 尚樹(愛媛大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者(○は発表者)
5	OP	ダム基礎処理工の透水性に関わる三次元施工品質管理システムの開発 ○野中 隼人, 升元 一彦, 中嶋 誠門, 佐藤 敏亮, 高橋 勝也, 奈須野 恭伸
6	OP	亀裂の進展を考慮した均質化理論に基づく岩盤の強度特性評価 ○小早川 博亮, 島村 真介
7	0	電気探査法によるフィルダム堤体内部の水理特性モニタリング ○尾留川 剛, 安藤 悠, 角野 淳也, 鈴木 浩一

■ 『斜面および斜面災害(1)』／1月12日(土)10:00～10:45／会場：第2会場(12番教室)／司会：長谷 東子(ニュージェック)

講演番号	発表形式	タイトル・著者(○は発表者)
8	OP	気液二相流・弾塑性解析による豪雨に伴う斜面崩壊危険度評価手法の現場への適用 ○末永 弘, 田中 姿郎, 小早川 博亮
9	0	剛体回転を考慮した4節点 iso-parametric 要素マニホールド法による落石モデルの解析 橋本 涼太, 大西 有三, ○佐々木 猛, 三木 茂
10	OP	動摩擦を考慮した完全陰解法 DDA による岩盤斜面振動台実験の再現解析 ○末岡知紘, 橋本涼太, 岩田直樹, 清田亮二, 高橋裕徳

■ 『現場計測・最新の計測技術(1)』／1月12日(土)10:00～10:45／会場：第3会場(13番教室)／西本 壮志(電力中央研究所)

講演番号	発表形式	タイトル・著者(○は発表者)
11	0	軟岩からなる素掘りトンネル天端に形成された開口亀裂の温度依存性挙動 ○長田 昌彦, 細川 一樹, 宮本 翔太
12	OP	画像認識による切羽の落石検知・警報装置の開発 ○谷 卓也, 古賀 快尚, 早坂 翼, 本間 直樹
13	0	磁石を利用したトンネル背面空洞の検知に関する基礎的研究 ○大島 淳矢, 芥川 真一

発表形式…0：口頭発表, OP:口頭発表+ポスター発表, F:自由討議

■ 『トンネル・地下空洞(1)』／1月12日(土)13:00~14:15／会場：第1会場(テクノホール)／司会：谷卓也(大成建設)

講演番号	発表形式	タイトル・著者(○は発表者)
14	0	工業用内視鏡による切羽前方地山調査法(DRi スコープ)の適用例 ○関根 一郎, 法橋 亮, 小林 由委, 石垣 和明
15	OP	山岳トンネル切羽の剥落危険度評価システムの開発と現場への適用 ○戸邊 勇人, 宮嶋 保幸, 白鷺 卓, 山本 拓治
16	OP	トンネル外周装薬孔のノッチを利用した余掘り低減発破工法 塚本 耕治, ○浜田 元, 浅野 剛, 福田 大祐

■ 『斜面および斜面災害(2)』／1月12日(土)13:00~14:15／会場：第2会場(12番教室)／司会：小山 倫史(関西大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者(○は発表者)
17	0	城壁の地震時の安定性に関する基礎的研究 ○山城 義隆, 藍檀 オメル, 渡嘉敷 直彦, 富山 潤
18	0	崖内部の応力場と引張亀裂に関する基礎的研究 ○堀内 浩貴, 藍檀 オメル, 渡嘉敷 直彦
19	0	The Evaluation of Static and Dynamic Frictional Properties of Rock Discontinuities from Tilting and Stick-slip Tests ○Ömer AYDAN, Yoshimi OHTA, Naoki IWATA, Ryouji KIYOTA

■ 『室内試験・模型実験(2)』／1月12日(土)13:00~14:15／会場：第3会場(13番教室)／司会：三谷 泰浩(九州大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者(○は発表者)
20	0	岩石の反発音を利用した動弾性係数の評価手法 山辺 正, 畠山 健, ○安達 ちはる
21	0	乾燥来待砂岩の伝熱特性と厳密解による検討 山辺 正, ○市川 敦也
22	F	動的解析で用いる岩石の非線形モデルの改良 ○石丸 真, 岡田 哲実
23	F	繰返し一面せん断試験による風化砂岩の不連続面の変形特性の評価 ○関口 陽, 岡田 哲実
24	F	Otway 堆積岩を用いた真三軸応力下での断層沿い透水性と断層安定性に関する予察的研究 ○竹村 貴人, 佐藤 稔, Eric Tenthorey, 高橋学

発表形式…0：口頭発表，OP：口頭発表＋ポスター発表，F：自由討議

■ 『トンネル・地下空洞(2)』 / 1月13日(日) 9:00~10:15 / 会場：第1会場(テクノホール) / 司会：宮嶋 保幸(鹿島建設)

講演番号	発表形式	タイトル・著者(○は発表者)
25	0	泥水ライニングを用いた高圧力貯蔵タンクにおける泥水自己閉塞性能に関する室内試験結果 ○西本 吉伸, 高島 正治, 久野彰大, 淵上安信, 宮本久司
26	OP	幌延深地層研究センターの立坑掘削損傷領域の水理・力学的挙動に関する研究 ○青柳 和平, 櫻井 彰孝, 棚井 憲治
27	0	トンネル先進ボーリングデータの分析による合理的地山評価に向けた検討 ○丹羽 廣海, 倉橋 稔幸, 岡崎 健治, 亀村 勝美
28	0	粒状体個別要素法による岩盤空洞の応力～浸透流連成掘削解析とクリープ解析 田坂 嘉章, 黒瀬 浩公, 菊井 孝利, ○本田 中, 青木 謙治

■ 『放射性廃棄物処分』 / 1月13日(日) 9:00~10:15 / 会場：第2会場(12番教室) / 司会：木下尚樹(愛媛大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者(○は発表者)
29	0	高レベル放射性廃棄物処分場の THM 長期挙動評価(その1)～境界条件の異なる縮尺モデルによる遠心载荷時間加速試験～ ○西本 壮志, 荒井郁岳, 阿部孝行
30	0	高レベル放射性廃棄物処分場の THM 長期挙動評価(その2)～遠心载荷時間加速試験を対象とした数値解析～ ○渡辺 高志, 内山 不二男, 澤田 昌孝, 西本 壮志, 石井 智子
31	0	高レベル放射性廃棄物処分場における緩衝材の膨出変位量の推定 西本 壮志, ○荒井 郁岳, 橋爪 秀夫
32	F	凝灰質砂岩を対象とした岩石の熱特性, 透水特性, 力学特性に関するばらつきの評価 ○納谷 朋広, 中島 雅之, 岡田 哲実, 西本 壮志, 川久保 政洋

■ 『室内試験・模型実験(2)』 / 1月13日(日) 9:00~10:15 / 会場：第3会場(13番教室) / 司会：市川 晃央(竹中土木)

講演番号	発表形式	タイトル・著者(○は発表者)
33	0	メタンハイドレート増進回収法におけるCO ₂ と海水の利用の実用性向上に関する検討 ○池川 洋二郎
34	0	遠心模型実験による断層の地盤破壊挙動に対する基礎的検討 ○中村 邦彦, 日高 功裕, 澤田 昌孝, 石丸 真, 岡田 哲実
35	OP	大孔径の断層試料の採取と三軸試験による力学特性評価 ○岡田 哲実, 中村 良太, 小川 浩司, 納谷 朋広
36	0	Observation of Long-term Permeability of a Single Rock Fracture under Different Thermal Conditions ○Chenlu SONG, Shinichiro NAKASHIMA, Hideaki YASUHARA, Kiyoshi KISHIDA

発表形式…0：口頭発表, OP:口頭発表+ポスター発表, F:自由討議

■ 『トンネル・地下空洞(3)』 / 1月13日(日) 13:00~14:15 / 会場: 第1会場(テクノホール) / 小山 倫史(関西大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者(○は発表者)
37	OP	低強度・高地圧地山における大深度立坑支保設計手法の研究 ○本島 貴之, 小池 真史, 萩原 健司, 青柳 和平
38	0	多層ニューラルネットワークを用いた山岳トンネルにおける地山評価の検討 ○土谷 陽太郎, 北岡 貴文, 長谷川 信介, 大津 宏康
39	0	地圧を受ける山岳トンネルへの対策工の効果 ○嶋本 敬介, 中根 利貴, 水谷 真基, 野城 一栄
40	0	ウレタンの地山改良効果の評価試験 ○水谷 真基, 嶋本 敬介, 中根 利貴, 野城 一栄
41	0	無線センサによる地圧を受けるトンネルのモニタリング ○中根 利貴, 嶋本 敬介, 津野 究

■ 『岩盤の性質・評価』 / 1月13日(日) 13:00~14:15 / 会場: 第2会場(12番教室) / 司会: 鴨志田 直人(岩手大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者(○は発表者)
42	0	マトリクス拡散を考慮した不連続性岩盤の巨視的物質移行特性の評価手法に関する基礎的検討 ○下茂 道人, 熊本 創, 松岡 稔幸, 石井 英一
43	OP	3D形状測定機およびX線CTを用いた岩石不連続面のラフネス測定 ○上野 徳馬, 吉田 龍人, 中島 伸一郎, Song CHENLU, 岸田 潔
44	OP	亀裂発生・進展を考慮したマルチフィジックスシミュレータの開発 ○緒方 奨, 安原 英明, 岸田 潔
45	0	大谷石風化現象の誘因と防止に関する検討 ○清木隆文, 中島 徹, 金井圭汰
46	F	先進ボーリング調査時ならびに施工時におけるトンネルの地山評価と切羽変状の関係 ○岡崎 健治, 倉橋 稔幸, 亀村 勝美, 村山 秀幸, 丹羽 廣海

■ 『現場計測・最新の計測技術(2)』 / 1月13日(日) 13:00~14:15 / 会場: 第3会場(13番教室) / 司会: 竹原 孝(産業技術総合研究所)

講演番号	発表形式	タイトル・著者(○は発表者)
47	0	LPG 備蓄のための貯槽周辺岩盤の動的挙動モニタリング ○豊田 耕一, 田坂 嘉章, 黒瀬 浩公, 水道 健, 藤井 宏和, 青木 謙治
48	0	RFID システムを用いた揚鉱・沈降実験における鉱石モデルの管内移動の計測方法の開発 ○折田 清隆, 谷 和夫, 鈴木 亮彦, 田中 肇一, 菅 章悟
49	OP	光の屈折率に着目した物質相変化モニタリングに関する基礎的研究 ○田中 良明, 芥川 真一
50	F	DInSAR による広域地表面沈下の観測 -Semarang (Indonesia) および Tuzla (Bosnia & Herzegovina) への適用事例 ○亀山 光雄, I. N. Sudi Parwata, P. Edi Yastika, 清水 則一

発表形式…0: 口頭発表, OP: 口頭発表+ポスター発表, F: 自由討議

(2) ポスター発表セッション (18 件)

■ ポスター掲示期間：1月12日(土)12:00~1月13日(日)12:00/コアタイム：1月12日(土)17:15~18:15/会場：ポスター会場(第3会議室)

講演番号	発表形式	タイトル・著者(○は発表者)
51	P	再冠水試験中の止水壁の状態変化に関する検討 ○松井 裕哉, 見掛 信一郎, 池田 幸喜, 筒江 純
52	P	CO ₂ 地中貯留における坑井配置問題への最適化ツールの適用とその高速化 ○宮城 充宏, 山本 肇, 秋本 洋平, 薛 自求
53	P	感圧導電性粒子を用いた2次元主応力方向の測定原理の考察 ○白石 啓太, ピパットポンサー ティラポン, 肥後 陽介, 北岡 貴文, 大津 宏康
54	P	真壁小目花崗岩の破壊靱性値に関する実験的研究 ○竹原 孝
55	P	周期荷重が加わる多孔質弾性体への Fixed-stress split 法による分離反復型解法の適用性検討 ○赤木 俊文, 山本 肇
5	OP	ダム基礎処理工の透水性に関わる三次元施工品質管理システムの開発 ○野中 隼人, 升元 一彦, 中嶋 誠門, 佐藤 敏亮, 高橋 勝也, 奈須野 恭伸
6	OP	亀裂の進展を考慮した均質化理論に基づく岩盤の強度特性評価 ○小早川 博亮, 島村 真介
8	OP	気液二相流・弾塑性解析による豪雨に伴う斜面崩壊危険度評価手法の現場への適用 ○末永 弘, 田中 姿郎, 小早川 博亮
10	OP	動摩擦を考慮した完全陰解法 DDA による岩盤斜面振動台実験の再現解析 ○末岡知紘, 橋本涼太, 岩田直樹, 清田亮二, 高橋裕徳
12	OP	画像認識による切羽の落石検知・警報装置の開発 ○谷 卓也, 古賀 快尚, 早坂 翼, 本間 直樹
15	OP	山岳トンネル切羽の剥落危険度評価システムの開発と現場への適用 ○戸邊 勇人, 宮嶋 保幸, 白鷺 卓, 山本 拓治
16	OP	トンネル外周装薬孔のノッチを利用した余掘り低減発破工法 塚本 耕治, ○浜田 元, 浅野 剛, 福田 大祐
26	OP	幌延深地層研究センターの立坑掘削損傷領域の水理・力学的挙動に関する研究 ○青柳 和平, 櫻井 彰孝, 棚井 憲治
35	OP	大孔径の断層試料の採取と三軸試験による力学特性評価 ○岡田 哲実, 中村 良太, 小川 浩司, 納谷 朋広
37	OP	低強度・高地圧地山における大深度立坑支保設計手法の研究 ○本島 貴之, 小池 真史, 萩原 健司, 青柳 和平
43	OP	3D 形状測定機および X 線 CT を用いた岩石不連続面のラフネス測定 ○上野 徳馬, 吉田 龍人, 中島 伸一郎, Song CHENLU, 岸田 潔
44	OP	亀裂発生・進展を考慮したマルチフィジックスシミュレータの開発 ○緒方 奨, 安原 英明, 岸田 潔
49	OP	光の屈折率に着目した物質相変化モニタリングに関する基礎的研究 ○田中 良明, 芥川 真一

発表形式…P:ポスター発表, OP:口頭発表+ポスター発表

注) ポスターは12日(土)9:00から掲示が可能です。遅くとも12日(土)13:00までに掲示してください。

優秀ポスター賞投票について

ポスター発表の中から優秀ポスターを選び、表彰いたします。

デザイン、内容、質疑応答の優れた発表を2件選び、ポスター会場の投票箱に投票してください。（3件以上投票されると、無効となります。）

ポスター発表のコアタイムは、

1月12日（土）17:15～18:15

です。1月13日（日）13:00で投票を締切ります。

投票用紙は、参加受付時に配布します。紛失されても再発行はいたしません。

選考方法

デザイン、内容、質疑応答の優れたポスターに贈られます。参加者と審査委員の投票の結果、最も得票の多いポスターに賞が贈られます。（投票結果が同点の場合は、原稿審査結果で優劣を決定します。）